

小規模増殖場効果調査(アワビ)

(要 旨)

勢村 均・石田健次

1. 浜田市津摩地区

昭和60年6月17日に調査を行なった。出現したアワビ類はクロアワビ(天然、放流)、メガイ、およびトコブシであり、出現個体数は天然クロアワビ0～4個体/5分×2人観察、放流クロアワビ1～4個体/5分×2人観察、メガイ0～1個体/5分×2人観察、トコブシ0～3個体/5分×2人観察であった。

天然クロアワビの殻長組成は10cm以上が75%を占めた。放流クロアワビの殻長は3.5～6cmの範囲であった。また、殻長29～52mmの放流クロアワビ死殻が6個得られ、その伸長量(放流時から斃死時までの)は0～31mmであったことより、放流後長期にわたり少数ずつの斃死があったと考えられた。

サザエは昨年と同様全く出現しなかった。

優占した海藻類はウミウチワ、ソゾ、フシスジモクであった。

(詳細は「沿整協会ニュースNo.30、昭和60年度年間報告版」島根県沿岸漁場整備開発協会を参照のこと。)